

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

p-キシレンの藻類 (*Selenastrum capricornutum*) に対する生長阻害試験

試験番号

6 B 6 8 0 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.201「藻類生長阻害試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1)被験物質: p-キシレン
- 2)暴露方式: 止水式(密閉), 振とう培養(100rpm)
- 3)供試生物: *Selenastrum capricornutum* (ATCC22662)
- 4)暴露期間: 72時間
- 5)試験濃度(設定値): 対照区, 助剤対照区, 6.00, 8.00, 11.0, 14.0, 19.0, 25.0 mg/L
(公比:1.3, 助剤濃度一定:100mg/L, ジメチルホルムアミドおよび
HCO-30使用)
- 6)試験液量: 100 mL (OECD培地)
- 7)連数: 3 容器/濃度区
- 8)初期細胞濃度: 1×10^4 cells/mL
- 9)試験温度: 23 ± 2 °C
- 10)照明: 4000~5000 lux (連続照明)
- 11)被験物質の分析: HPLC法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

各試験液の濃度は開始時において設定の±20%以内であったため、下記の生長阻害濃度の算出には設定値を採用した。

暴露72時間後の設定値に対する割合は32～34 %であった。被験物質濃度の減少は、主に揮発によるものと判断した。

2) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 EbC50(0-72) : 14.1 mg/L (95%信頼区間 : 11.6～17.2 mg/L)

無影響濃度 NOECb(0-72) : 8.00 mg/L

3) 生長速度の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 ErC50(24-48) : 16.3 mg/L (95%信頼区間 : 算出不可能)

無影響濃度 NOECr(24-48) : 14.0 mg/L

50%生長阻害濃度 ErC50(24-72) : 16.8 mg/L (95%信頼区間 : 算出不可能)

無影響濃度 NOECr(24-72) : 14.0 mg/L